

## 月布川水力発電所事業性評価事業

### 1. 事業の目的

水力賦存量が豊富な本地点において、水力発電事業の実現に向け、地形測量、地質調査、基本設計、正常流量調査を行うことで実現可能な計画の立案及び事業コストを明らかにし、確度の高い事業性評価を実施する。

### 2. 事業の内容

- (1) 事業者名  
リニューアブル・ジャパン株式会社
- (2) 補助事業の名称  
月布川水力発電所事業性評価事業
- (3) 事業期間  
令和6年10月24日～令和7年2月21日
- (4) 調査を実施する発電設備の概要
  - a. 発電形式：水路式
  - b. 使用水量：1.44m<sup>3</sup>/s
  - c. 有効落差：165.35m
  - d. 出力：1,867kW

### 3. 令和6年度の事業実施概要

- ① 地形測量  
令和6年11月から令和7年2月に2級基準点測量及びUAVレーザー測量を行なった。
- ② 地質調査(重金属調査、発電所地点のボーリング)  
令和6年11月から令和7年2月に重金属調査及び発電所付近でのボーリング調査を行なった。
- ③ 正常流量調査  
令和6年11月から令和7年2月に正常流量調査を行なった。

### 4. 事業の成果等

- ① 地形測量  
UAVレーザー測量により、取水、水路トンネル、ヘッドタンク、発電所、放水計画地点の地形を把握でき、基本設計に必要な情報を得ることができた。
- ② 地質調査(重金属調査、発電所地点のボーリング)  
重金属調査により、自然由来の重金属が含まれているリスクが低いことが分かった。発電所付近の地質、地盤強度を確認するとともに、構造型式の検討に必要な情報を得ることができた。
- ③ 正常流量調査  
正常流量調査により、発電電力量の算出に必要な維持流量を算定することができた。

以上から、当初想定した導水路ルートや発電所位置に大きな変更はなく、次年度の基本設計や発電電力量の試算によって、事業性評価の精度は高まるものと思われる。  
一方、取水地点においては、課題が抽出されたことで、よりリスクやコストを低減させる配置計画の見通しが立ったと言え、次年度の地質調査や基本設計の実施により事業性及び実現性を高められるものと考えている。



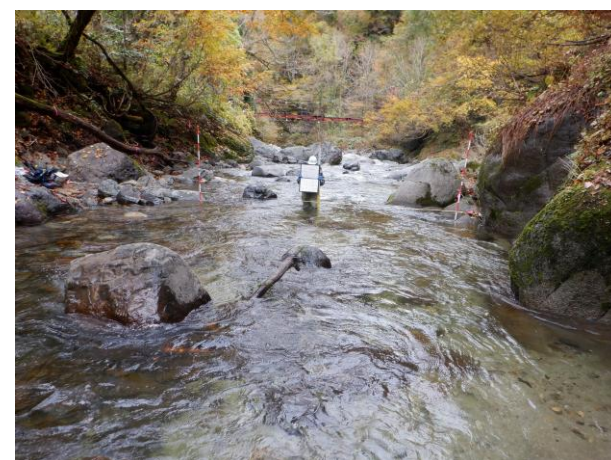
基準点測量



UAVレーザー測量



ボーリング調査



正常流量調査

### 5. 事業スケジュール

調査項目	令和6年度(実績)												令和7年度(予定)											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
流量解析 (補助対象外)			■																					
地形調査																								
地質調査																								
正常流量調査																								
基本設計																								
事業性評価																								

【凡例】  
■ 実績  
 計画  
 自主事業